

視察報告書

会議の名称	第7回 埼玉中部環境保全組合新たなごみ処理施設等建設検討委員会視察
開催日時	令和6年4月19日（金） 8：30 ～ 16：30
視察目的	本建設検討委員会では、第8回の建設検討委員会以降に環境学習・啓発、エネルギー利用、災害対応等についての協議事項を予定している。また、新たなごみ処理施設においてはこれまで処理対象としていなかったプラスチック類の処理を行う方向性で整理している。ついてはこれらに関連する最新施設を視察し、今後の協議のための見識を深めることを目的とする。
視察先	<p>1 日野市クリーンセンター プラスチック類資源化施設 住所：東京都日野市石田1丁目210番地の2 処理対象：日野市のプラスチック類、不燃ごみ、不燃性粗大ごみ 選定理由：日野市は戸別収集やごみ有料化等を実施し、令和4年度における「ごみ排出量の少なさ全国1位(人口10万人以上50万人未満の市町村)」となっており、ごみ量削減における先進的な自治体である。その取組の中で、プラスチック類の処理も先進的に行っているため、視察先として選定した。</p> <p>2 浅川清流環境組合 可燃ごみ処理施設 住所：同上 処理対象：日野市、国分寺市、小金井市の可燃ごみ及び可燃性粗大ごみ 処理方式：ストーカ式 228t/日 選定理由：令和2年度より稼働する3市の組合による施設であり、処理方式、施設規模、水害対策等について相似点が多く、また環境学習・啓発、エネルギー利用についても参考となると考えられたため、視察先として選定した。</p>

<p>視察先位置図</p>	
<p>出席者氏名</p>	<p>委員 1 4 名</p>
<p>事務局出席者</p>	<p>事務局 6 名 コンサルタント 2 名</p>
<p>視察内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 日野市クリーンセンター プラスチック類資源化施設 <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設説明 (2) 施設見学 (3) 質疑応答 2 浅川清流環境組合 可燃ごみ処理施設 <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設説明 (2) 施設見学 (3) 質疑応答
<p>配布資料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 日野市クリーンセンター プラスチック類資源化施設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前質問表 ・ 日野市の清掃概要 (平成 15 年度版) ・ 日野市の清掃概要 (令和 4 年度版) ・ 令和 5 年度 施設見学実績総計 ・ パンフレット 2 浅川清流環境組合 可燃ごみ処理施設 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前質問表 ・ パンフレット

視 察 内 容

1 日野市クリーンセンター プラスチック類資源化施設

(1) 施 設 説 明

所 在 地：東京都日野市石田1丁目210番地の2

竣 工：令和2年3月

建築面積：2,458.53m²

施設規模：プラスチック類18.7t/5h、不燃ごみ6.9t/5h、不燃性粗大ごみ
2.2t/5h

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造（地上3階建て）

(2) 施 設 見 学



会議室での説明



パネル展示説明



プラットフォーム（プラスチック側）



プラットフォーム（不燃ごみ側）



不燃ごみ選別



不適物展示



中央制御室



プラスチック類選別



プラスチック類選別



プラスチック容器包装バール実物大模型

(3) 質 疑 応 答

発言者	内 容
日野市	事前質問表を説明した後、質疑に入る。
A 委員	<p>容器包装お返し大作戦（ペットボトルやトレイ、牛乳パックなどの容器包装を、購入した店舗（協力店）に返すことで、ごみの発生回避を図るという日野市の取り組み）の導入に対する店舗（協力店）の反応はどのようなものであったか。</p> <p>また、導入にあたっては、協力店へのインセンティブを設けているのか。</p>
日野市	以前、レジ袋の無料配布廃止を全国に先駆け検討していたが、リーマンショックにより白紙となった。容器包装お返し大作戦はその代替として導入が検討された経緯があるため、好意的な店舗（協力店）が多い。インセンティブは特に設けていない。
B 委員	<p>3点質問がある。1点目、日野市では戸別収集を行っているという説明があったが、集団収集の場所は全く設けていないのか。アパートやマンションではどのように収集を行っているのか。</p> <p>2点目、収集運搬費用は戸別収集の導入前後でどの程度変化したか。3点目、収集場所に排出されたごみのうち、きちんと分別されていないものについては、どのように対応しているか。</p>
日野市	<p>集団収集の場所は設けていない。アパートやマンションについては集合住宅管理者と市で場所の取り決めを行い、必要に応じて第三者の投棄を防ぐために施錠を行っている。</p> <p>収集運搬費用は戸別収集の導入前後（平成11年度から平成12年度にかけて）で約3.6億円増加している。</p> <p>分別が不適当なごみについては収集せず、お知らせシールを貼ることで対応している。お知らせシールを貼っても改善されない場合には、パトロール隊が直接説明を行うなどして対応している。</p>

B 委員	<p>収集場所に長期間ごみが放置されるような問題は起こっていないのか。</p>
日野市	<p>そのような事例は聞いたことがない。戸別収集を20年以上実施しており、市民の方々の十分な理解があると考えている。また、お知らせシールがあるごみ袋が家の前に放置されることは抵抗があることとして共通認知されている。</p>
委員長	<p>環境部局の組織と構成員の数を教えてほしい。</p>
日野市	<p>5つの課により構成される環境共生部のうち、ごみゼロ推進課と施設課が主に廃棄物処理事業を担当している。両課はそれぞれ10名程度で構成されている。</p>
委員長	<p>ごみ減量の取り組みの成果が上がっていると思うが、どの課が取り組んでいるのか。</p>
日野市	<p>ごみゼロ推進課が中心に取り組んでいる。戸別収集への切り替えなどを行った平成12年のごみ改革では、説明会の開催などを中心にごみゼロ推進課だけでなく市全体で大きく取り組んだ。</p>
A 委員	<p>レジ袋の削減を目的とした「レジごみ袋（おしゃれな指定収集袋）」の導入を進めていると説明があったが、どの程度の販売実績があるのか。</p>
日野市	<p>豊田駅前のイオンで1日あたり50枚程度、市内のセブンイレブン協力店舗も合わせて1日あたり100枚弱程度の販売実績がある。通常の有料指定収集袋と同じ価格設定としているため、特別、販売実績が多いということもないが、ある程度の需要がある。</p>
	<p>以上</p>

2 浅川清流環境組合 可燃ごみ処理施設

(1) 施設説明

所在地：東京都日野市石田1丁目210番地の2

竣工：令和2年3月

建築面積：5,223m²

施設規模：228t/日（114t/日×2炉）

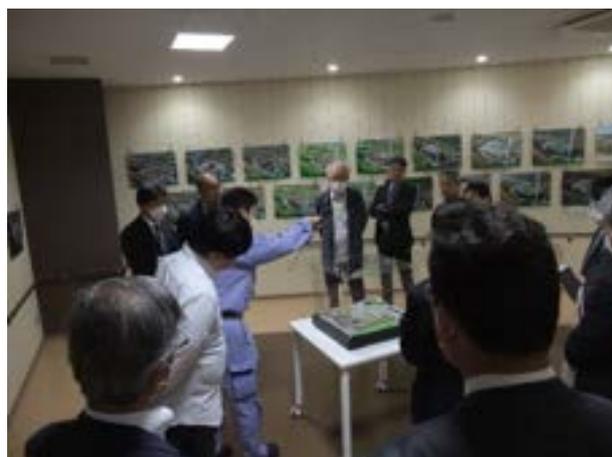
処理方式：全連続燃焼式（ストーカ炉）、タービン発電機5,190kW

構造：鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造（地上6階、地下2階建て）

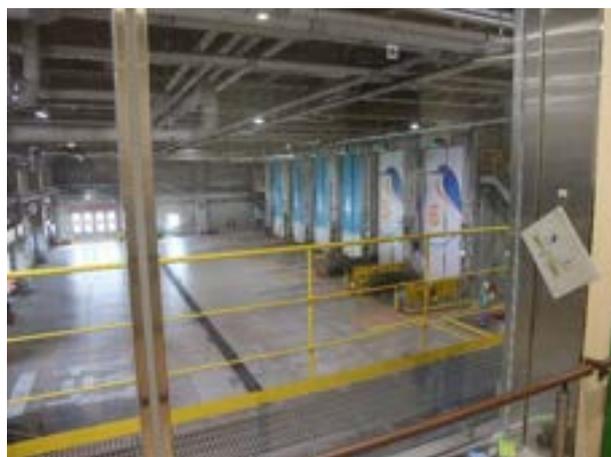
(2) 施設見学



会議室での説明



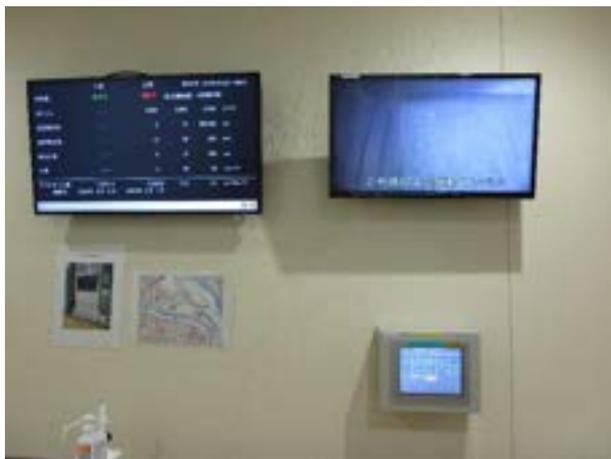
パネル・模型展示



プラットフォーム



ごみピット内



測定値表示モニター



炉内表示モニター



ストーカ炉



発電設備



発電体験展示



ろ過式集じん器

(3) 質 疑 応 答	
発言者	内 容
浅川清流環境組合	事前質問表を説明した後、質疑に入る。
A委員	焼却灰はエコセメントによる資源化を行っているという説明があったが、落じん灰（火格子の隙間から落ちた灰であり、有用な金属が含まれる）のリサイクルの検討は行っているか。
浅川清流環境組合	落じん灰も焼却鉄と合わせて資源物として売却している。
A委員	収集車両は3市とも同じ大きさであるのか。例えば、施設から遠い小金井市からはまとめて大きな収集車両で運ぶというようなことを行っているか。
浅川清流環境組合	収集車両の大きさは各市の委託事業者によって決まるため、様々である。遠い市からの収集車両が必ずしも大きいということはない。
C委員	施工事業者を選定するにあたって、3市の方針を決めるための協議はどのような会議形式で行われていたか。
浅川清流環境組合	建設検討当時の担当者がいないため、詳細の流れは不明であるが、要求水準書に基づき提出された提案書を比較検討することにより選定を行った。
	以上